

KOYAALA 通信は、チーム・コヤアラがコヤアラ・クラブ会員に発行するニュース・レターです。発行日 3月1日、6月1日、9月1日、12月1日

VIVA ÉCOLE DE SIMON 2021

エコール・ド・シモン同窓生による人形&作品展 六本木ストライプハウススペース (5月15日~23日)



高村園子 高橋竜男 ヒロタサトミ Dollhouse Noah



赤松和光 さいとうなおこ Harumi Tanaka 奥本泉 小沢幹子

エコール・ド・シモンの同窓生有志 64 名による作品展が、今年の会場に予定していたストライプハウススペースで開催されました。呼びかけ人の斉藤修さんは長年エコール・ド・シモンで四谷シモン氏やスタッフのそばで活動を見守ってきた生徒さんの一人です。

2020 年春、コロナウィルスの影響で世界中のイベントや展示が次々と中止や延期になりました。年に 1 回開催されるエコール・ド・シモン展も DM ができあがり、あとは 5 月の開催を待つばかりだったそうです。しかし展示の中止とエコール・ド・シモンの閉校がほぼ同時に決まり、作品を作って準備をしていた生徒や OB の方々は二重に衝撃を受けました。斉藤さんによれば「皆が途方に暮れた時期があって」、6 月頃には有志による今年の開催に向けて動き出したそうです。一方、当紙 45 号でもお伝えしたように、エコール・ド・シモン講師の高塚宏さん、小沢茂さんの二人も新しいエコール・ド・シモンを 10 月に開校しました。短い期間にそれぞれがエコール・ド・シモンへの思いで尽力し、展示も教室も引き継がれました。斉藤さんは「発表の場、目標がないと作る気力もなくなってしまう。1 年に 1 回あるとそれを目標に作っているところがある」と語ります。1978 年に四谷シモン氏が開校したエコール・ド・シモンから巣立った作家もたくさんいます。40 年以上続いた人形学校の同窓会として、年 1 回の開催を望む関係者は少なくありません。主催の立場になって斉藤さんは「よくもここまで違うものを作る。何でも受け入れてくれるというのがエコール・ド・シモンの魅力」と再認識されたそうです。初日には四谷シモン氏が来場されたのをはじめ、エコール・ド・シモンを思う人々がかわるがわる会場を訪れました。来年以降の開催は未定ですが、何らかの形での開催が期待されています。(取材 羽関チエコ)

HAZEKI OFFICE の展示企画・協力企画

●企画協力
横浜人形の家「アンティークドールx現代創作人形展」(仮)
 羽関オフィスは横浜人形の家で夏に開催される展示企画に協力します。
 館収蔵のアンティークドールコレクションと現代創作人形作家による時空を超えたコラボレーション。ベテランから新進まで気鋭の作家たちがこの企画に挑戦します。
 2021年7月10日(土)~10月10日(日)
 会場:横浜人形の家・3階企画展示室(約168㎡)
 観覧料:大人900円/小中学生450円(常設展料金を含む)
 ※観覧料は変更の場合がございます。
 詳細: <https://www.doll-museum.jp/>

●直営ギャラリー「ノックブラツ」
青の羊個展 8月7日(土)~14日(土)
亞鳥舎個展 9月4日(土)~11日(土)
 11:00~18:00 会期中無休
 東京都東村山市久米川町3-27-57
 TEL 042-395-7547

●MISOROGI 人形展
 9月22日(水)~9月28日(火)
 丸善丸の内本店ギャラリー(JR東京駅丸の内北口前 oazo 4F 入場無料)
 MISOROGI 人形展は、人形の不可思議さ、愛おしさの原点を探る人形展です。
 出品作家【郷土人形】吉田義和(古型今戸人形)、太田みき子(宮内張子)ほか【創作・日本】高橋操、杉田明十志、水澄美恵子はじめ約30名【創作・海外】ホフロヴァ、ルネヴァ、クルトヴァ(Varvarica)、Vera-Zai、ダヴィデンコはじめ約10名



ホフロヴァ・マヤ(ピロスマニへのオマージュ)

DM 同封希望の方へ(次の発行日から3ヵ月の間に展覧会を予定されている方)
 事務局に枚数と×切をお問い合わせのうえ、発行日の10日前までにお送り下さい。発行後に請求書をお送りします。
 同封料金 コヤアラ・クラブ会員 2000円 一般(非会員) 3000円

個人情報について
 お預かりしている個人情報はチーム・コヤアラの事務局業務を担当する羽関オフィスが厳重に管理いたします。名簿は「KOYAALA 通信」発送に使用させていただく他、チーム・コヤアラの趣旨に沿って有意義と判断した情報を伝達する以外には一切使用しません。チーム・コヤアラ以外の第三者が閲覧・使用することはありません。

チーム・コヤアラ事務局
 189-0003 東京都東村山市久米川町3-27-57 羽関オフィス内
 TEL 042-395-7547 (担当 はせぎ)
 URL <http://koyaala.jp> Email team_koyaala@yahoo.co.jp
 KOYAALA 通信 編集責任者 羽関チエコ
 © KOYAALA TSUSHIN 2021, printed in Japan 本地記載の記事・画像の無断使用・転載を禁じます。

ドールワールドフェスティバル

2021年6月19日(土)
 13:00~17:00
 都立産業貿易センター
 浜松町館4階
 東京都港区海岸1-7-1
 ※新型コロナウイルスの状況次第では急遽中止となる場合がございます。ご来場前にイベントホームページまたはツイッターをご確認ください。
 詳細
http://dwf.d.doou.jp/dw_index.html
 問合せ
 ドールワールド NAW 実行委員会 担当小川
 TEL 090-4541-5634
 ※台東館から浜松町館へ、開催日も土曜日1日のみに変更しての開催。チーム・コヤアラと HAZEKI OFFICE も出展します。



『craft art DOLL 2021』

2021年7月上旬刊行予定
 A5判192ページ税込3520円
 約100名の作家作品をグラビアで紹介。
 羽関チエコ・森内憲両氏による寄稿のほか、人形作家アンケート結果などを掲載予定です。

第9回クラフトアート人形マッチングコンクール

2022年2月に東京、3月に大阪で開催予定。
 エントリーは2021年8月1日~31日受付。
 人形を扱うギャラリストやイベントーターが審査いたします。
 問合せ クラフトアート人形コンクール実行委員会
info@craft-art-doll.com まで

コヤアラ・クラブ入会条件

入会金なし 年会費 2000円(更新時に2年分一括払いの方は3900円になります。)
 年4回、チーム・コヤアラのニュースレター「KOYAALA 通信」が届きます。
 KOYAALA 通信発行時期 3月1日、6月1日、9月1日、12月1日

お申込方法

ゆうちょ銀行の振替口座に年会費 2000円をご送金ください。
 口座名 チーム・コヤアラ
 ゆうちょ銀行から 00140-7-358370
 他銀行から ○一丸店(ゼロイチキウ店) 0358370
 ※電信送金の方は「〒番号・住所・お名前(本名)・電話番号」もあわせてお知らせ下さい。
 ・ご入金確認ができた後、チーム・コヤアラ事務局から最新号と受領証を兼ねた会員証をお送りいたします。次号の発行が直近の場合は、翌号からお送りいたします。
 ・更新時には、有効期限となる号に更新のお知らせと振替伝票を同封してお知らせいたします。



FANTANIMA!2021 東京展が5月4日に終了し、この通信が発行される頃は関西展の後期が開催されています。海外作家76名、国内作家33名合計109名が出品しました(東京展 ユニットは1名とする)。今年も緊急事態宣言の時期に重なりましたが、実展示ができたことで出品作家、お客様の明るい顔を直接目にできたことがそれまでの激務を忘れさせてくれました。

よく「大変でしたね」とねぎらいの声を頂きます。

はい、とても大変でした。

今回は、何が大変だったか書いてみたいと思います。

今回はいつものクラウドファンディングに加え、万が一の場合に備え紙のカタログとオンラインで会期前から内容を公開、会期が始まってからは実展示とオンライン通販を同時進行という異例のスケジュールとなりました。これは大変でした。しかしそれより困ったのは、自分がコントロールできない作家とのやりとりでした。

1. 〆切を無視されること (海外の作家について)

情報が何らかのエラーで伝わらない、内容が理解しにくいことについて毎年改善を重ね、今年はほとんどの作家が提出物と期限、注意事項を理解していました。

しかし少数ながら、こちらのインフォメーションを無視または軽視する作家は、確率として必ず存在します。彼らによって順調だった全体の進行が止まってしまいます。人気作家に多く、いつも同じ方ばかりです。

2. 画像が素人

〆切の催促に加え、悩まされたのがこの項目にあげることです。(国内の作家にも当てはまります。)

・冴えない画像

スマホの撮影機能が充実している現在、ピントがぼけた画像にはプロの姿勢を疑いたくなります。不要な背景には切り抜き処理をすることもあります。

・画像を整理しない、選別をこちらに任せる。

1点につき2~3カットなら良いのですが、数十点の画像を一度に送ってくる海外の作家もいました(一人ではありません)。作品に抽象的なタイトルをつけている場合は、タイトルと画像の照合リスト、または画像ファ

イル名をタイトルにするなどの配慮が必須ですが、それも何度も催促しないと出さない人もいます(これも一人ではありません)。このあたりで、私も沸点に近づきます。

3. 忙しさがピークのときに、細かい質問やリクエストをしてくる。

相手の都合は、自分も気を付けるようにしなければと思わされます。

4. 予想外の作品を送ろうとする

海外の作家は人選の時点でかなり厳選します。作品についても同様で、希望を特定するか、制作プランを事前に見せて頂くようにしています。これは互いに返品ロスを避ける意味もあります。

しかし予告なしに、別人のものかと思うほど予想外の画像を送る作家がいます(これも一人ではありません)。海外の作家はそんなに簡単に作風を変えるのかと驚くくらいです。だいたいFANTANIMA!に向けた意欲作で「見て!素敵でしょ」と自信満々です。それがいい意味での想定外ならよいのですが、意欲作だけに従来より高額だったりもするし、内容に満足いかなければはっきり断ります。すると作家は憤慨します。私も引き留めませんから、それで関係は終わります。今回はそういうキャンセルが一人。もう一人同じ展開になりそうな作家がいましたが、私の意見を聞いて新たに作品を制作し、〆切ギリギリに送ってきました。初出品の方でしたが、この方の作品は完売になりました。

5. 売り込み

準備がピークの時期に売り込みも多くなります。以前は時間の猶予と作品のクオリティがあれば一度は受け入れるようにしていました。しかし今はかなりの作品でない限り、ほとんどお断りします。国内だったらレベル的に標準以上の方々ばかりです。このやりとりだけでも、けっこう時間がかかります。あるとき自称シャーマンの方の売り込みがあって、作品を見てお断りしました。すると「あなたは私の作品を展示するようになる」と予言されました。靈感ともいべきひらめきで手を動かす作り手は、皆シャーマンみたいなものなんですけどね。

たくさん作家を一度に扱う展示企画は大変です。私もたくさんある反省事項のひとつとして、画像で作品の良さを判断しきれないと肝に銘じています。お断りをするつもり作家の作品を実際に見て、そのユニークさが初めて分かることがあります。逆に実物を見てがっかりするケースもあります。後者は私の場合は減ってきていますが、インターネットで流通する作品を見ていると、お客様はこれで満足するのかなと思うことが度々あります。お客様は作品に恋しているのでしょうか。横槍を入れるのは野暮なだけです。しかし作者には、クオリティを上げる意識を促したいのが本音です。これに関する事は、7月発行の『craft art DOLL』(マリアパブリケーション発行)で、少し書かせて頂いていますので、よろしければご一読ください。

ここに書いたことは、ほとんどが海外の作家を対象にしたことです。彼らとは本音でやりとりをすることで、信頼関係を築いています。日本の作家ともそれができれば良いのですが、精神的風土も違いますしまだ時間がかかるかもしれません。

とにかく、これだけの人数の展示準備をこなせたのは私の依頼を尊重し、支えてくれた多くの作家のおかげです。彼らの協力なしには成り立ちませんでした。心から感謝しています。



FANTANIMA!2021 東京展
丸善丸の内本店正面入口のディスプレイ

FANTANIMA!2021 公式ウェブサイト <http://fantanima.nonc.jp/2021/>

コヤラ会員レポート

鎮魂の作品を公開

長岡哲生さん (島根県松江市)

松江市でグラフィックデザイナーとして活躍していた長岡さんは、鹿児島寿蔵の紙塑人形を知ったことで2002年から人形制作に専念するようになりました。2003年より松江市を拠点に個展を開催、2007年にはノンクブラツ(府中市)で個展を開催しました。粘土の上に和紙を貼り、光を柔らかく反射する長岡さんの作品は見る人の心に優しい残像を残します。

長岡さんは公募展や海外展に積極的に参加、2012年にはチーム・コヤラが取り組んだスペインの国際人形展「IN-DOLLS」展に出品し、「IN-DOLLS」賞を受賞しました。『DOLL FORUM JAPAN』やチーム・コヤラに関する展示で知り合った作家達とも交流し、松江のデパートでも数回にわたり創作人形展を企画しました。その交流で知り合った作家の一人が2011年の東北大地震の津波で家族を失ったとき、長岡さんは半年以上かけて鎮魂のための作品を制作しました。しかし公開は控えていたそうです。

展示を報じた山陰中央新報(2020年9月21日)の記事

長岡さんの今までの作品は、こちらのウェブサイトでご覧になれます。
「長岡哲生の世界
人のかたち 心のかたち」
<http://tetsuo-nagaoka.com/>



そして10年経って「第三者的に作品に向き合えるようになった」と、この「青い海のかなた」を松江市のギャラリーで初めて展示しました。

長岡さんはその他にも地元で、つげ義春や有本利夫などを自身の収蔵品で紹介する企画に取り組んできています。

